

平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年10月10日

上場会社名 株式会社 高島屋  
 コード番号 8233 URL http://www.takashimaya.co.jp  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 弘 治  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 加藤 ナ ナ

上場取引所 東

(TEL) (03) 3211-4111

四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 平成25年11月20日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績 (平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	435,291	3.7	11,156	10.2	13,492	14.9	7,614	15.3
25年2月期第2四半期	419,830	2.4	10,124	11.6	11,740	8.8	6,604	22.8

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 15,928百万円 (64.7%) 25年2月期第2四半期 9,671 百万円 (111.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	23.08	21.47
25年2月期第2四半期	20.01	18.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	815,266	349,644	42.1
25年2月期	790,687	335,443	41.7

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 343,337百万円 25年2月期 329,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年2月期	—	5.00			
26年2月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想 (平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	904,000	3.9	29,000	13.8	32,500	8.8	17,500	5.8	53.04

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名） 除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	330,827,625株	25年2月期	330,827,625株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	939,514株	25年2月期	933,661株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	329,890,729株	25年2月期2Q	329,899,038株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12
(7) 重要な後発事象 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(2013年(平成25年)3月1日～2013年(平成25年)8月31日)におけるわが国経済は、企業業績をはじめとして景気がゆるやかに回復してまいりました。しかしながら、欧州や新興国の経済状況は依然不安定な状態が続いており、今後も経済情勢について注視を要する状況にあります。

そのような環境のもと、当社グループは構造改革を進めるとともに営業力強化に努めました。さらに、収益力の高いグループ会社を有する強みを活かすことにより、グループの総合力を結集し、業績の改善に努めました。

その結果、連結営業収益は435,291百万円(前年同期比3.7%増)、連結営業利益は11,156百万円(前年同期比10.2%増)、連結経常利益は13,492百万円(前年同期比14.9%増)となり、連結四半期純利益は7,614百万円(前年同期比15.3%増)となりました。

セグメントの概況は、次のとおりです。

#### <百貨店業>

百貨店業においては、「国内百貨店事業の変革」を掲げ、大型店の営業力強化や郊外店・地方店の収益体質向上、顧客基盤の磐石化に努めてまいりました。

当第2四半期は、株価上昇に伴う資産効果などにより特選衣料雑貨・宝飾品等の高額品を中心に売上を伸ばしました。あわせて、世田谷美術館で開催された「暮らしと美術と高島屋」展に連動した文化催事「たかしまやART WALKING」を展開し、当社のブランド価値向上に努めるとともに、集客力の強化にも取り組みました。また、本年は中元商戦ピークの6月28日に夏のクリアランスセールをスタートさせ、売上高や入店客数を順調に伸ばすことができました。

店舗別では、大型店の日本橋店が開店80周年を記念した催事を積極的に開催したこともあり増収となりました。また、横浜店は特選衣料雑貨や宝飾品が好調に推移したことに加え、全館リニューアルの一環として改装した婦人雑貨も順調で増収となりました。さらに、新宿店は増加する外国人観光客や東急東横線と東京メトロ副都心線の相互乗り入れにより増加した来街者の取り込み策が奏功し、売上高・入店客数とも前年を上回りました。一方、大阪店では激化する競合環境に対応し、一部改装を実施しましたが、わずかに減収となりました。

郊外店・地方店では、大宮店が「店舗の多機能化」による集客力向上を目指し、5月の新規テナントの導入をはじめ全館改装を実施した結果、順調に入店客数を伸ばしました。岡山店は食料品の増床・改装を実施したことにより、売上高・入店客数とも前年を上回りました。

海外では、タカシマヤ・シンガポールLTD.が春節などでの各プロモーションの好調や、婦人雑貨・食料品等の堅調に加え、円安による為替影響もあり増収増益となりました。

この結果、営業収益は385,419百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は4,391百万円(前年同期比18.7%増)となりました。

#### <建装事業>

建装事業においては、高島屋スペースクリエイツ株式会社が、ホテル等宿泊施設や商業施設の受注が伸び増収となりました。これによりリフォーム事業拡大のための経費は増加したものの、増益となりました。

この結果、営業収益は9,054百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益は389百万円(前年同期比49.3%増)となりました。

#### <不動産業>

不動産業においては、東神開発株式会社が、玉川ショッピングセンターの増床や、収益物件の取得等により、増収増益となりました。また、トーシン ディベロップメント シンガポール PTE., LTD. では、専門店の契約更改による家賃収入増に加え、円安による為替影響もあり、増収増益となりました。

この結果、営業収益は17,791百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は4,062百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

<金融業>

金融業においては、高島屋クレジット株式会社が、堅調な個人消費によりショッピング取扱高が伸びたことに加え、カード年会費収入も増加したため営業収益は増収となりました。これにより債権管理強化のための経費や取扱高比例経費などは増加したものの、増益となりました。

この結果、営業収益は5,909百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は1,951百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

<その他>

クロスメディア事業においては、ネットメディア・カタログメディア・テレビメディアとも堅調に推移し増収となりました。

この結果、クロスメディア事業等その他全体での営業収益は17,117百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は388百万円（前年同期比143.0%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産は、815,266百万円と前連結会計年度末に比べ24,578百万円増加しました。これは現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものです。負債については、465,621百万円と前連結会計年度末に比べ10,377百万円増加しました。主な要因は支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものです。純資産については、349,644百万円と前連結会計年度末に比べ14,200百万円増加しました。

営業活動キャッシュ・フローは、19,056百万円の収入となり、前年同期に比べ2,167百万円の収入の増加となりました。主な要因は、仕入債務の増減額が2,843百万円増加したことなどによるものです。

投資活動キャッシュ・フローは、11,711百万円の支出となり、前年同期に比べ4,504百万円の支出の減少となりました。主な要因は、定期預金の預入による支出が4,197百万円減少したことなどによるものです。

財務活動キャッシュ・フローは、381百万円の支出となり、前年同期に比べ18,452百万円の支出の減少となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出が20,784百万円減少したことをはじめ、長期借入れによる収入が2,300百万円減少したことなどによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10,677百万円増加し、74,657百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績につきましては、2013年（平成25年）6月28日の第1四半期決算発表時の業績予想から営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益を下記のとおり修正いたしました。

2014年（平成26年）2月期通期連結業績予想数値の修正  
 (2013年（平成25年）3月1日～2014年（平成26年）2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	897,000	28,000	30,000	16,700	50 .62
今回修正予想 (B)	904,000	29,000	32,500	17,500	53 .04
増減額 (B-A)	7,000	1,000	2,500	800	—
増減率 (%)	0.8	3.6	8.3	4.8	—
前期実績 (2013年（平成25年）2月期)	870,333	25,476	29,866	16,540	50 .13

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年(平成25年)2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年(平成25年)8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	69,495	80,948
受取手形及び売掛金	98,978	105,831
有価証券	—	2,999
商品及び製品	37,270	36,873
仕掛品	443	646
原材料及び貯蔵品	521	515
その他	30,131	30,210
貸倒引当金	△577	△512
流動資産合計	236,263	257,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	154,003	154,476
土地	213,057	213,732
その他(純額)	11,695	12,326
有形固定資産合計	378,755	380,535
無形固定資産		
のれん	745	688
その他	28,233	28,164
無形固定資産合計	28,979	28,852
投資その他の資産		
投資有価証券	96,100	99,998
差入保証金	41,288	40,886
その他	12,094	10,117
貸倒引当金	△2,794	△2,637
投資その他の資産合計	146,688	148,364
固定資産合計	554,423	557,753
資産合計	790,687	815,266

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年(平成25年)2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年(平成25年)8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,883	92,869
短期借入金	19,172	23,201
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	4,045	4,399
前受金	77,022	77,841
商品券	57,174	56,588
ポイント引当金	3,136	3,175
その他	46,212	50,690
流動負債合計	294,645	318,765
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	49,674	47,432
資産除去債務	1,301	1,406
退職給付引当金	43,648	43,032
役員退職慰労引当金	207	235
環境対策引当金	651	647
その他	35,116	34,101
固定負債合計	160,597	146,856
負債合計	455,243	465,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	56,025	56,025
資本剰余金	45,085	45,085
利益剰余金	206,440	212,404
自己株式	△536	△542
株主資本合計	307,014	312,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,106	15,136
繰延ヘッジ損益	1	△0
土地再評価差額金	8,537	8,537
為替換算調整勘定	1,767	6,690
その他の包括利益累計額合計	22,413	30,365
少数株主持分	6,015	6,306
純資産合計	335,443	349,644
負債純資産合計	790,687	815,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24年) 8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25年) 8月31日)
売上高	392,697	406,419
売上原価	290,584	302,193
売上総利益	102,113	104,225
その他の営業収入	27,132	28,872
営業総利益	129,245	133,097
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	11,397	11,582
ポイント引当金繰入額	1,299	1,607
貸倒引当金繰入額	192	152
役員報酬及び給料手当	32,878	33,055
退職給付費用	3,399	2,270
不動産賃借料	18,624	19,978
その他	51,329	53,293
販売費及び一般管理費合計	119,121	121,940
営業利益	10,124	11,156
営業外収益		
受取利息	212	207
受取配当金	528	634
持分法による投資利益	957	1,125
為替差益	—	357
その他	991	698
営業外収益合計	2,690	3,022
営業外費用		
支払利息	677	547
為替差損	174	—
その他	223	139
営業外費用合計	1,074	686
経常利益	11,740	13,492
特別利益		
固定資産売却益	—	210
投資有価証券売却益	—	38
その他	—	28
特別利益合計	—	277
特別損失		
固定資産除却損	1,208	2,085
投資有価証券評価損	19	—
その他	1	—
特別損失合計	1,229	2,085
税金等調整前四半期純利益	10,510	11,684
法人税、住民税及び事業税	2,720	3,559
法人税等調整額	794	148
法人税等合計	3,515	3,707
少数株主損益調整前四半期純利益	6,995	7,977
少数株主利益	391	362
四半期純利益	6,604	7,614

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24年) 8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25年) 8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,995	7,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,523	2,941
繰延ヘッジ損益	△12	△1
為替換算調整勘定	580	2,978
持分法適用会社に対する持分相当額	585	2,033
その他の包括利益合計	2,675	7,951
四半期包括利益	9,671	15,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,280	15,565
少数株主に係る四半期包括利益	391	362

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24年) 8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25年) 8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,510	11,684
減価償却費	9,340	9,158
のれん償却額	57	56
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△372	△222
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△16
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,595	△615
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14	28
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△459	39
受取利息及び受取配当金	△741	△841
支払利息	677	547
持分法による投資損益 (△は益)	△957	△1,125
固定資産売却損益 (△は益)	—	△210
固定資産除却損	763	1,385
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△38
売上債権の増減額 (△は増加)	3,030	△7,832
たな卸資産の増減額 (△は増加)	954	277
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,593	4,437
その他	△2,254	4,199
小計	19,560	20,912
利息及び配当金の受取額	1,522	1,888
利息の支払額	△715	△462
法人税等の支払額	△3,478	△3,282
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,888	19,056
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,775	△577
定期預金の払戻による収入	—	186
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△7	△208
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	3	64
関係会社株式の取得による支出	△1,960	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△9,486	△11,450
有形及び無形固定資産の売却による収入	9	237
その他	0	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,216	△11,711

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年(平成24年) 3月1日 至 2012年(平成24年) 8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年(平成25年) 3月1日 至 2013年(平成25年) 8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	40
長期借入れによる収入	5,300	3,000
長期借入金の返済による支出	△22,037	△1,252
配当金の支払額	△1,649	△1,649
その他	△448	△520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,834	△381
現金及び現金同等物に係る換算差額	890	3,714
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,271	10,677
現金及び現金同等物の期首残高	76,077	63,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,805	74,657

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自2012年(平成24年)3月1日至2012年(平成24年)8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	建装事業	不動産業	金融業	計				
営業収益									
(1)外部顧客への営業収益	373,145	8,320	16,659	5,830	403,955	15,875	419,830	—	419,830
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	2,916	2,265	2,185	2,019	9,385	15,405	24,791	△24,791	—
計	376,061	10,585	18,844	7,850	413,341	31,280	444,621	△24,791	419,830
セグメント利益	3,700	260	3,831	1,903	9,697	159	9,857	267	10,124

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、卸売事業、衣料品加工業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額267百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2013年(平成25年)3月1日 至 2013年(平成25年)8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	百貨店業	建装事業	不動産業	金融業	計				
営業収益									
(1)外部顧客への営業収益	385,419	9,054	17,791	5,909	418,174	17,117	435,291	—	435,291
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	3,021	2,830	2,182	2,169	10,203	15,345	25,549	△25,549	—
計	388,440	11,884	19,973	8,078	428,378	32,463	460,841	△25,549	435,291
セグメント利益	4,391	389	4,062	1,951	10,795	388	11,183	△26	11,156

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、卸売事業、衣料品加工業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△26百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。